

# わーく&らいふ

令和6年度 第7号（通巻第94号） 12月24日発行

## ■CONTENTS■

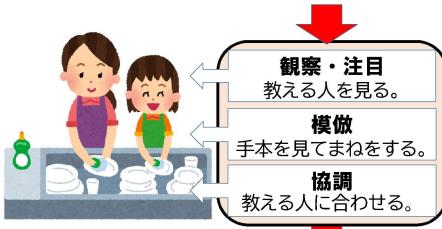
### ★年末年始大作戦～親子一緒に体験活動のススメ！～

いよいよ冬休み、そして年末年始。「大掃除」や「片付け」など、この時期ならではの年中行事もあります。ご家族の皆様も年末年始休暇で、いつもより余裕をもってお子様と向き合い、ともに活動できる時期ではないでしょうか。

今回の「わーく&らいふ」は、年末恒例の記事、冬季休業中の「体験活動のススメ」です。親子で一緒に取り組む体験活動の大きな意味について解説します。

### ■親や家族と一緒にするが育む重要な力

人のそばでお手伝いを繰り返すことで、



「教わる」ことができる力が育ちます。

たり、ときにはきょうだいだったりと、一緒に活動する相手が変わることも大切な学びとなります。「一緒にする」活動は、「お手伝い」に限らず、お子様との時間の中にいろいろあります。たとえば、絵本の読み聞かせ、運動、ものづくりなどにも、「教わる」場面が必ずあり、同様の効果があります。ついつい使用時間が長くなりがちなスマートなどの電子機器から離れ、いろいろな活動にチャレンジしてみてください。

次に年末年始大作戦に当たっての取組のポイントをご提案します。

### ◆ポイント1 「スケジュールと目標づくりからスタート」

冬休みはまず「スケジュールと目標づくり」からスタートしましょう。起床時間や活動の順序など1日のスケジュールを具体的に決めます。これにはお子様も交えた話し合いで決めるのも大切です。このような活動の積み重ねは、「選ぶこと」「決めるここと」など、将来「自分のことは自分で決める」意思決定につながるポイントもあります。

◆ポイント2 「いつも通り」

「年末年始大作戦」といっても、特別なことに取り組む必要はありません。いつもは家族でしている一連の家事（ゴミ出し、新聞を取る、朝ご飯の支度、片付け、洗い物、掃除・洗濯等々）に家族とともに取り組み、お子様に様々な体験をさせましょう。

また、年末の「大掃除」は日本独特的文化を教える機会でもあります。お子様の物の片付け・整理あるいは断捨離を通して、身の回りの4S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」）のすがすがしさを体感させましょう。

### ◆ポイント3 「あいさつを重点的に」

年末年始は親類などが集まる機会が多く、あいさつの機会がたくさんある時期です。日頃の学びの実践場面と捉え、大人が率先してよい手本を見せましょう。

### ◆ポイント4 「たくさんほめ、自我を育てる」

「お手伝い」の目的は、活動の体験のみならず、お子さんをほめる機会を増やすためです。人は周囲からほめられる（認められる）ことで成長し、認められる経験を積むことで自分自身を肯定的に見ることができるようにになります。

親子で取り組む中で、できたことを、できたぶん（大きさでもいいので）しっかりと認め、ほめてあげましょう。「ありがとう！たすかったよ。」「きれいになって嬉しい。」など、ほめ言葉のシャワーを浴びせて家族の一員としての自分を意識できるようにするのも大切です。

### ◆ポイント5 「がんばった分と対価（報酬）の結びつけ」

お手伝いと対価の結びつけにも取り組みましょう。「これをがんばったから、〇〇円のお小遣い」「冬休みに毎日〇〇できたら〇〇」という具合です。ごほうびのあげ方や、お子様によっては毎回あげる、シールをためる（トーケンシステム）、お小遣い日（給料日）を決めて社会生活に近づけるなどの工夫ができます。お年玉を渡す際に労いの言葉掛けをするのも良いですね。どうぞお子様にあったやり方で取り組んでください。

### 編集後記

お手伝いに限らず、親子（家族）で一緒に活動には、更に大きな意味があります。それは、活動を通じて親子（家族）関係が深まるということです。身近な人の信頼関係は、将来出会う人たちとの共感・愛着などの感情や行動へつながり、よりよい人間関係を構築する力になります。年末年始お子様とよい時間をお過ごしください。（文責 谷口）

★進路だより記事の感想や進路に関する疑問・質問は

右のQRコードを読み取り「しんろ目安箱」でお寄せください。

